

せいかつ
生活

您知道吗？有关日本最近的葬仪情况

对于归国者来说，有关日本的墓地方面的信息也是令大家关心的事吧。那么，有没有考虑过葬礼以什么样的方式举行呢？有的孤儿在配偶者过世后，先在日本举行葬礼，然后再特意把骨灰的一部分埋到在中国建的墓地里。总之，每个家庭都会有所不同。

不过，您知道吗？最近日本的葬礼本身发生了很大的变化。在这篇文章里，为大家介绍一下有关最近的日本的葬仪情况。

以前说到日本的葬礼，一般是 a) 根据过世的人或是家属信仰的宗教仪式（大多数是佛教式：举行灵前守夜和遗体告别仪式/给过世的人授予佛教式的戒名，请僧侣在死者枕前念经^{注1}以哀悼逝者），b) 以举行有很多人参加的告别仪式的方式为死者送行。在 a) 中，要支付僧侣和檀那寺院^{注2}各种谢礼（要花数十万日元的取戒名等的费用），在 b) 中参加告别仪式的人越多费用越高，一般最低也得花几十万日元。

但是，最近这两点都发生了变化。首先是有关宗教方面。到现在，葬礼的 8 成还是按照佛教式举行，但是据说无宗教式葬礼也在增多，接近 2 成是无宗教式的（除此以外，虽然是少数但坚持按照神式或是基督教式等不同宗教方式举行葬礼的也依然存在）。无宗教の場合时，放送精心选取的音乐和照明，播放与逝者有关联的影像等，像这样有个性有创意的追悼会也在增加。

ぞん さいきん にほん そうぎ じじょう
ご存じですか？ 最近の日本の葬儀事情

帰国者の皆さんにとって日本のお墓についての情報は重要な関心事だろうと思います。では、葬儀についてはどんな形式で執り行おうと考えていらっしゃるでしょうか。特に、孤児の配偶者の方が亡くなった場合は日本で葬儀を行った後、中国に建てたお墓に分骨するという方もいますね。家庭ごとに事情は様々だと思います。



ところで、最近、日本の葬儀事情自体にも大きな変化が起きていることはご存じでしょうか。この記事では、昨今の日本の葬儀事情をご紹介します。

従来、日本の葬儀といえば、a) 故人や家族の属する宗教儀式に則って（大多数が仏式：通夜と告別式を行う/故人には仏式の戒名が授けられ、僧侶の枕経^{注1}で弔う）、b) 大勢の会葬者で見送る形式、で行われていました。a) では僧侶や檀那寺^{注2}に各種の謝礼（数十万円もする戒名代など）を支払う必要があり、b) では会葬者が多ければ多いほど費用がかさむため、全体で最低でも数十万はかかるのが常でした。

ところが、最近はこの二点に変化が起きている。まず、宗教ですが、今でも葬儀の 8 割は仏式ですが、無宗教が 20% 近くに増えてきているそうです（これ以外に、神式とキリスト教式などの宗教別の方式も少数ながら行われています）。無宗教の場合、趣向をこらした音楽や照明を取り入れたり、故人にちなんだ映像を上映したりするなど、個性的なお別れの会とするケースが増えてきています。

因为所谓的“家族葬礼”增至葬礼总数的近一半，所以参加葬礼的人数减少了。即便如此，也会有仅限家人和近亲者举行的葬礼，也会有亲戚前来参加的、或是请亲近的朋友来参加的等各不相同，所以参加葬礼的人从几人到十几个人等人数有所不同。此外，还有以前就有的意为“仅限家人参加的遗体告别仪式”“告别仪式择日举行的情况下先举行仅限家人参加的遗体告别”等的“密葬”这样的词语，而“密葬”和“家族葬礼”之间有什么不同并不是很明确。

另外，不举行“家族葬礼”，而是仅在火葬场举行火葬的“直葬”的方式也在增加。据说，这样的件数接近整体的 20% 左右。但是，这种场合下，并非仅仅是火化，而多会是选用请僧侣来遗体安置所念枕经，或是在火化炉前念简单的炉前法要（读经）的方式。

也就是说，作为最近的倾向，参加葬礼的人数在减少、兴起个性化的葬礼。这些现象可以考虑以下几点原因：①随着核家族化・少子化的进展，家庭人口和近亲人数在减少，②与近邻以及檀那寺院的交往变得淡薄，③因平均寿命延长使得退休后的期间变长，工作关系方面的交往减少了，④不希望因“情面”而参加的人增多，⑤对一直以来给葬仪公司支付高额费用的依据产生疑问的人在增多等等。

有关葬礼后的骨灰的埋葬，也有人希望埋在树木下、或是把骨灰撒到海里、山上这样的大自然中等，不希望埋在墓石下面的人也在增多。为了实现自己的愿望，

会葬者数については、いわゆる「家族葬」が葬儀全体の半数近くに増えたことで、少なくなっています。といっても、家族や近親者だけで行うものから親戚も参列するもの、親しい友人にも来てもらうものなどさまざま、会葬者数は数人から数十人までと幅があります。なお、以前から「家族だけで見送る葬儀」
「告別式を後日改めて行う場合の家族のみの葬儀」などを指す「密葬」という語がありましたが、「家族葬」との違いははっきりしたものではありません。

また、「家族葬」も行わず、斎場で火葬だけを行う「直葬」「じきそう」または「ちよくそう」も増えました。その件数は全体の 20% 近くになるとも言われています。ただ、この場合も、本当にただ火葬だけを行うのではなく、安置所に僧侶を招いて枕経を頼んだり、火葬炉の前で簡単な炉前法要（読経）を行ったりといった方法を探ることが多いようです。

つまり、最近の傾向として、会葬者数の減少と葬儀の個性化が起こっているのです。その原因としては、①核家族化・少子化が進んで家族や近親者が減ったこと、②近隣や檀那寺との付き合いが薄れたこと、③平均寿命が伸びて定年退職後の期間が長くなり、仕事関係の付き合いが減ったこと、④「義理」で参列してもらいたくないと考える人が増えたこと、⑤従来葬儀会社に払ってきた高い料金の根拠が疑わしいと考える人が増えたこと、などが考えられます。

葬儀後のお骨の埋葬も、樹木の下にお骨を埋めてもらおう樹木葬や海山の大自然の中への散骨など、墓石の下に眠るのではない方法を望む人が増えてきました。こうした希望を実現させるために、生前のうち自身希望を家族に宛てて記しておく「エンディング・ノート」が普及しつつあります。



活着的时候为家人写下自己期待的“后事安排笔记”也在普及起来。

结合日本社会的这些变化，或许大家也可以考虑一下如何能使葬礼按照家人的意愿办理吧。

另外，有关葬礼费用，也有不少人考虑利用自治体举行的福祉葬礼或是市民葬礼^{注3}。相关事宜请参阅下页的文章“利用‘葬礼支援补贴’的注意事项”。

注 1：枕经・・・在守灵夜，僧侶在逝者的枕边念经，供养逝者。

注 2：檀那寺院・・・各个家庭皈依的宗教派系的寺院，自家的墓地置于寺院的墓地之内。

注 3：福祉葬、市民葬・・・福祉葬是由市区町村负担费用而举办的最低费用的葬礼，仅限火葬。市民葬，一般是由地方政府和葬仪公司协助举办葬礼，与一般的个人委托葬仪公司举办葬礼的费用相比会便宜一些。只是，并不是所有的地方政府都有这样的制度。

日本社会のこうした変化も踏まえて、ご家族の希望に合った葬儀の形式を実現する方法を一度考えてみられてもいいかもしれません。

なお、費用に関しては、自治体の行う福祉葬や市民葬^{注3}を利用することを考えている方も少なくないと思います。また、次ページの記事、『葬祭支援 給付』の注 意点^{注3}も合わせてご覧ください。(An)

注 1：枕経…僧侶が故人の枕元で通夜の夜、経を上げて供養すること

注 2：檀那寺…各家が所属する宗派の寺。寺内の墓地にその家の墓を置く。

注 3：福祉葬、市民葬…福祉葬は市区町村が費用を負担して行う最低限の葬儀のことで、火葬のみ。市民葬は一般的な葬儀を自治体と葬儀社が提携して行うもので、葬儀社に普通に依頼するよりも費用が多少安くなる。ただし、どの自治体でもやっているわけではない。



<http://data.urban-funes.com/data/chosen-funeral-style/> エンディングデータバンク

<https://allabout.co.jp/gm/gl/22600/> all about 葬儀・葬式関連情報などを参考にしました。

专栏

有关墓地的「要注意的两点事项！」

- ① 最近，让人开心不起来的一个日本社会的变化是，在墓地偷东西的事件增多。过去，墓地是安静地祭拜的场所，不是小偷可以任意妄为的地方。据说，最近参加葬礼的人稍微离开一下的瞬间，包或是贵重物品就会被偷的事件有所增加。
- ② 参加葬礼的人把点着火的香掉到草地上，却没注意到而引发火灾的事有所增加。

コラム お墓の「2つの気をつけよう！」

- ① 最近の嬉しくない日本社会の変化は、墓地での置き引きが増えたことです。昔は墓地は静かにお参りをする場で、泥棒がのさばるような場所ではなかったのですが、参拝者がちょっと目を離した隙にカバンや貴重品を盗まれるケースが増えているそうです。
- ② 参拝者が火の着いた線香を墓地の芝生に落としたのに気づかず、火事になるケースが増えているそうです。